

## 目的：公共交通サービスの向上

- バス定期券の電子購入や中心市街地乗り放題券の販売など、路線バスの利便向上施策を通じて、公共交通の利便性の再認識を促進。公共交通を活用した通勤・通学へ転換し、過度な車依存社会からの脱却及びスマートシティ社会の実現を図る。
- オンライン販売の割合を増やすことにより、公共交通事業者の事務負担の軽減及び利用者数の増加による事業運営の改善を図る。
- 利用データの収集・分析による最適化されたサービス提供を目指す。

## 事業内容：GunMaaSを活用したモビリティサービスの充実

### 【① バス定期券のオンライン販売】

- JR前橋駅を中心とした200円区間のバス路線で利用できる「市内共通定期券」をスマホで購入できるようにし、クレジットカードの利用も可能とした。また、MNC認証連携により窓口での通学証明書等の提示をせずに購入できる「年齢定期券」を新たに販売した。

### 【② 中心市街地乗り放題券（時間券）販売実証実験】

- 上記①と同一エリアで利用できる「中心市街地乗り題（1日券）」に加え、3種の時間制チケットをGunMaaS上で期間限定で販売することにより利用者の詳細なニーズ調査を行った。

### 【③ P&BRサービス実証実験】

- マイカーと公共交通の共創に向けた実証実験により、必要なルールの検証及び地域の公共交通課題の整理を行った。

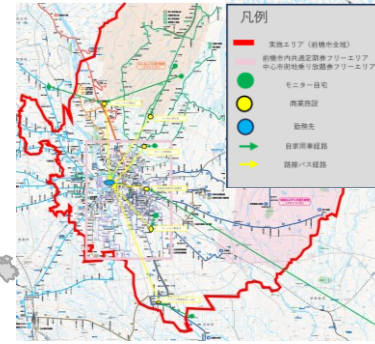
### 【④ cogbeフリーパスの販売】

- GunMaaS上でもシェアサイクルチケットを新たに販売した。

## 効果

- 課題：バス事業者の事務負担、及び公共交通の利便性の認知度低下
- 効果：前橋市内共通定期券がスマホで購入できるようになったことにより、オンライン上での販売割合が1割に達した。また、各種サービスの開始により利便性が向上し、「公共交通の利用が増えた」と回答した人が45%に達した。

## 【実施エリア】



| 交通事業者      |             |
|------------|-------------|
| 関越交通(株)    | 群馬中央バス(株)   |
| 永井運輸(株)    | ㈱群馬バス       |
| 日本中央バス(株)  | 上信観光バス(株)   |
| P&BR協力施設   |             |
| ㈱カインズ      | フレッセイ       |
| ㈱とりせん      | ㈱前橋市夜間休日診療所 |
| シェアサイクル事業者 |             |
| ecobike(株) |             |

## 【本事業の取組の全体像】



## 【GunMaaSのチケット画面】



## 【前橋市内共通定期券を使用する様子】

